

IoTを活用した 地方創生に関する NTTグループの取組み

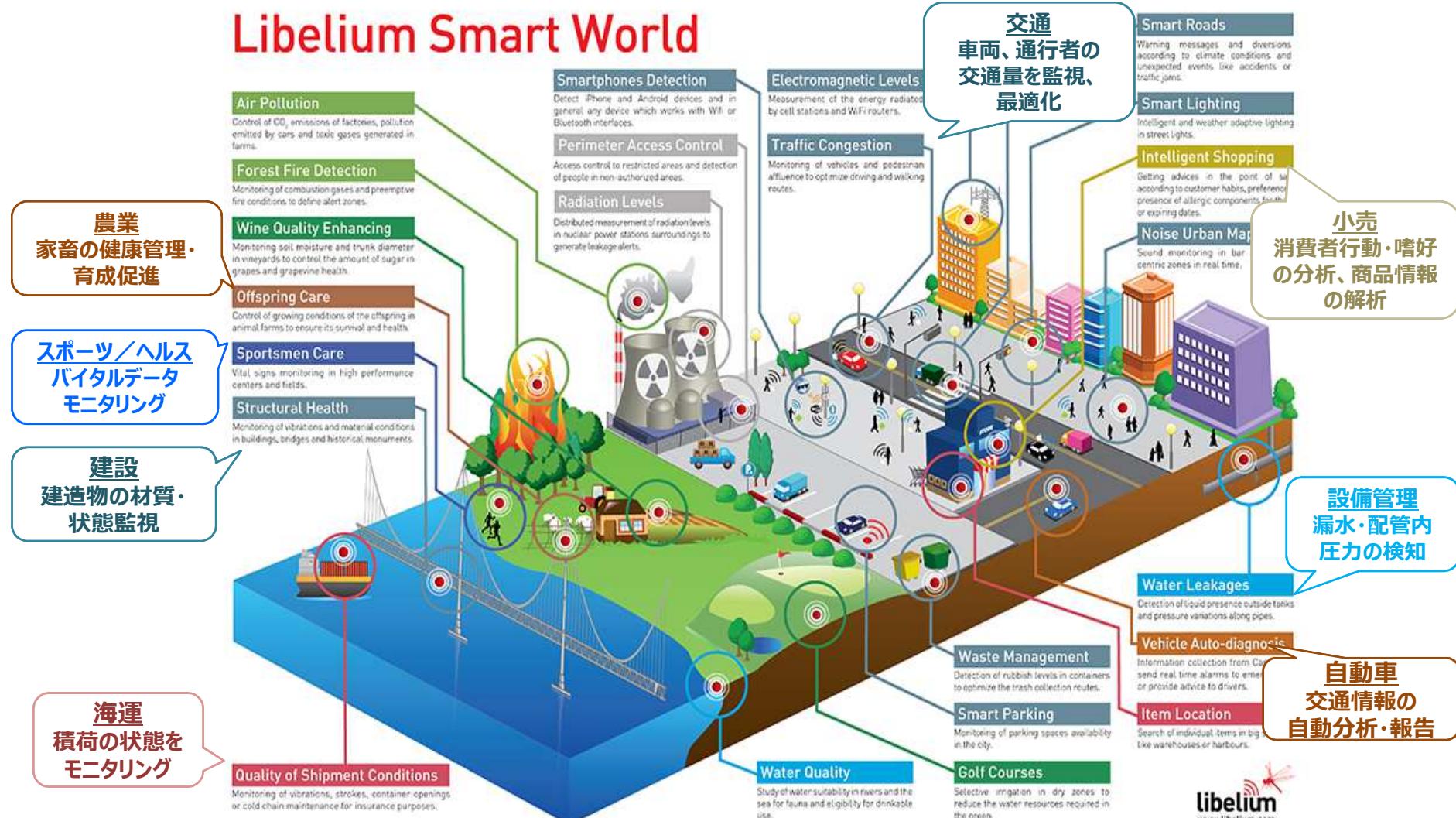
西日本電信電話株式会社
ビジネス営業本部
クラウドソリューション部長
黒田 敏秋



IoTで実現する社会

IoTの実現により新たな価値が創造され、その価値を提供するサービスやビジネスモデルが出現

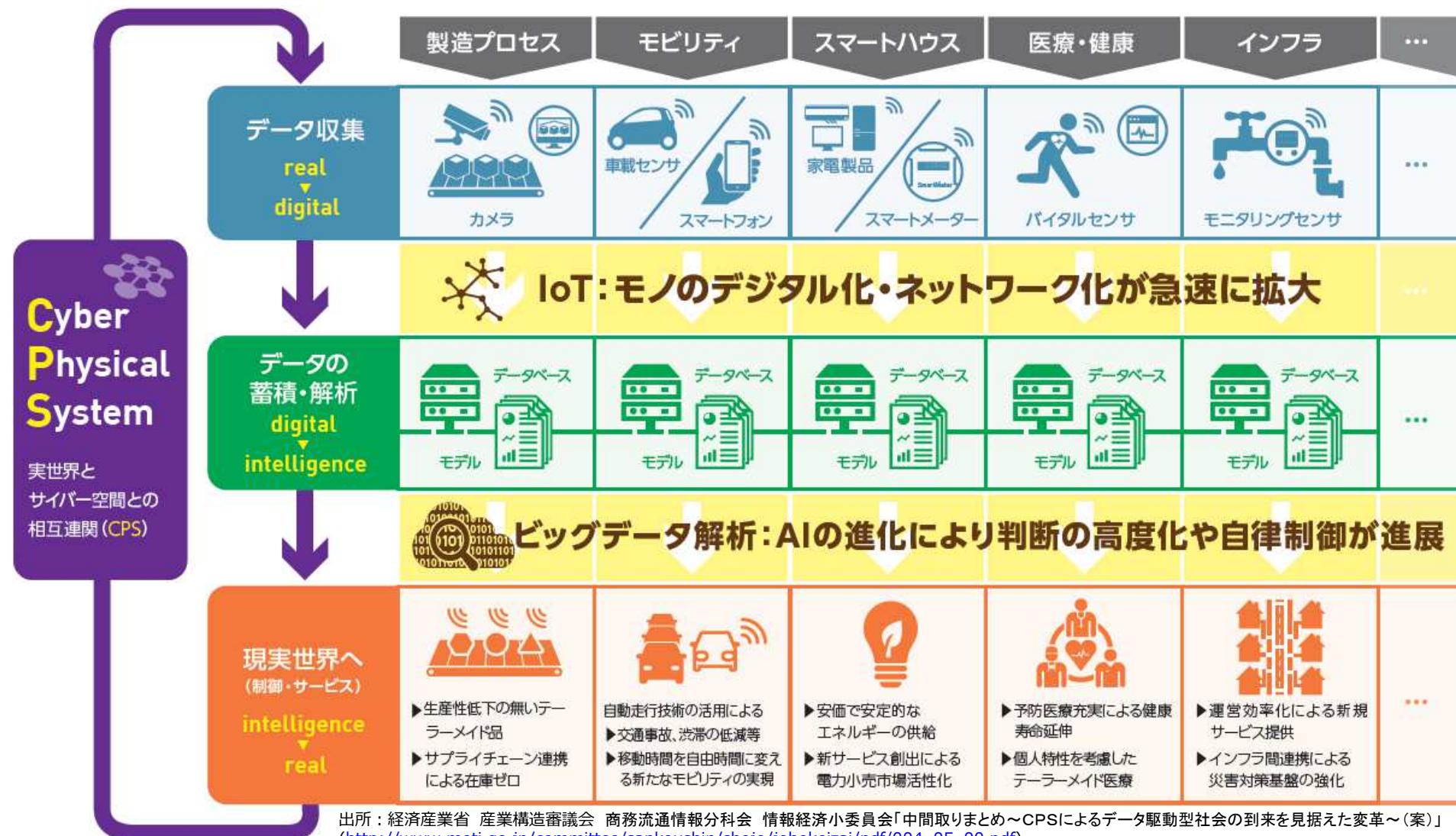
Libelium Smart World



出所 : Liberium (<http://www.libelium.com/libelium-smart-world-infographic-smart-cities-internet-of-things/>)

実世界とサイバー空間の相互連関

CPS (Cyber Physical System) : 実世界とサイバーシステムの相互連関



IoT、ビッグデータ、AIにより社会課題を解決する
NTTグループの取組み

地方創生×ICT

「しごと」・「ひと」の好循環から、「まち」を創生する地方創生の実現に向けて、産業の活性化、安心・安全で豊かな生活の実現等、さまざまな分野でICTを活用



地方創生×ICT



子どもの日々の体調管理のサポートや登降園管理を自動化し、保育士の負担を軽減



※ICTのクマ先生はCM用に作成したものであり、販売等は行っておりません。（平成28年7月現在）

企業広告「保育の未来 篇」(<http://www.ntt-west.co.jp/ad/company/hoiku.html>)



地方創生×ICT



地方創生×ICT



農作業の省力化・最適化をサポート <产地経営支援システム>

- ・地域でICTインフラを共有することでコストを低減
- ・地域で『知』を共有し、活用することで生産性向上のロジックを確立

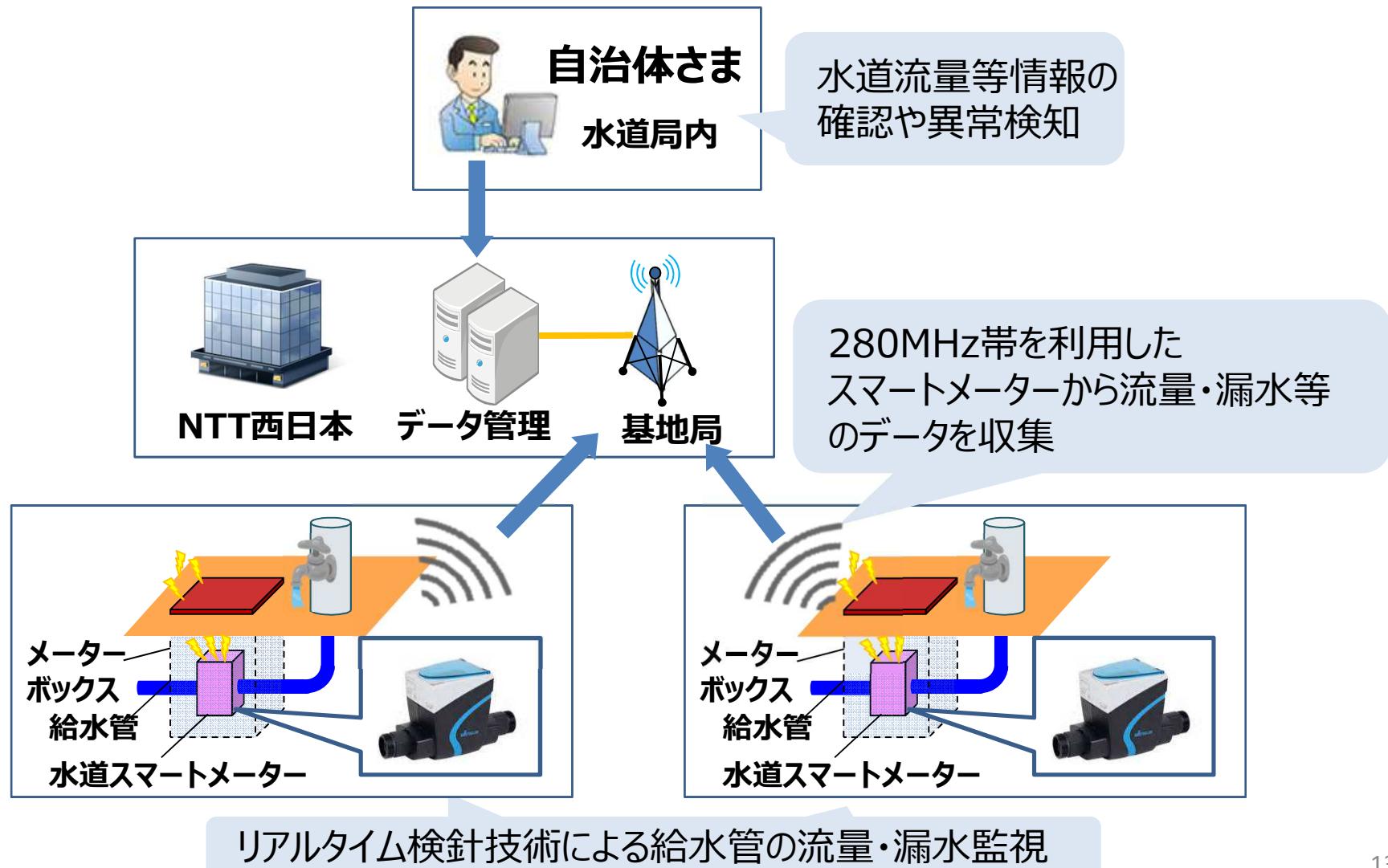


地方創生×ICT



検診業務や設備管理を最適化<遠隔水道検診>

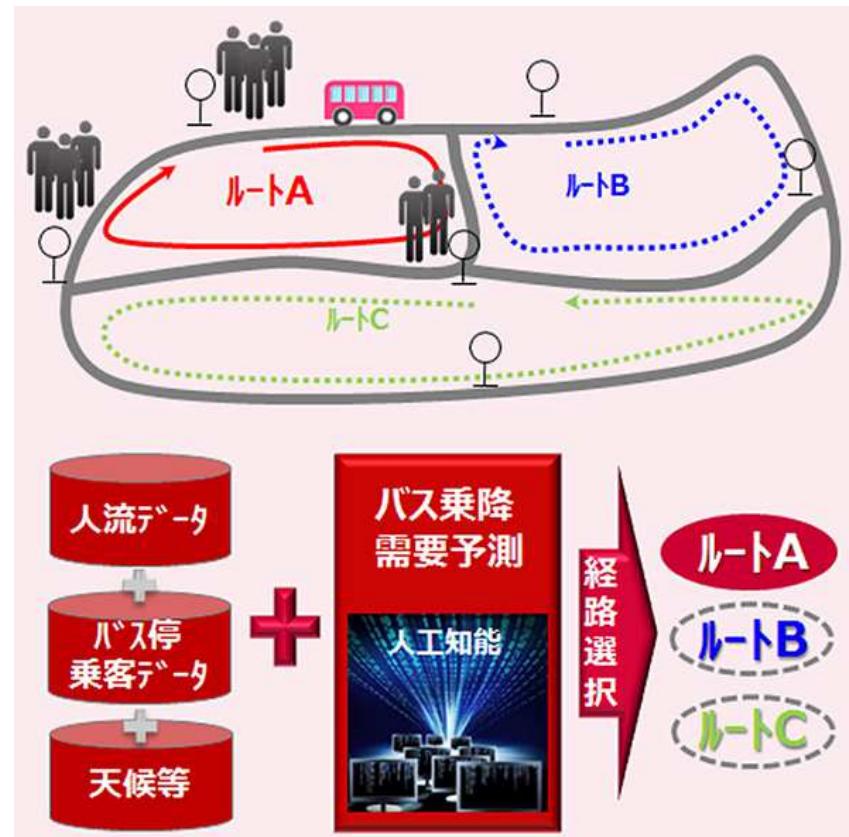
広域無線ネットワークおよびスマートメーター等を組み合わせ、水道流量の遠隔収集による流量計測を目的にフィールドトライアルを実施



地方創生×ICT



自動走行技術や人工知能（AI）を活用した、より安全で快適な運転を実現



出所：NTTドコモ ニュースリリース（https://www.nttdocomo.co.jp/info/news_release/2016/07/08_00.html）

地方創生×ICT



防災

災害に備える <住民参加型防災ハザードマップ>

- ・自治会単位で地域住民自ら町歩きをし、専用端末を使ってハザードマップを作成
- ・クラウド上にマップを保存し、誰にでも共有できる

計画

実測

ハザードマップ策定

完成



住民同士で話し合い
ながらマップを作成



町歩きで危険
箇所を確認



地方創生×ICT



地方創生×ICT



地方創生×ICT



ロボットで顧客接点をもつ<クラウドロボティクス>

- ・コミュニケーションロボットの「Sota™」が店頭で顧客と対話し、各地域の特性や特色を把握するための対話情報を収集
- ・収集した対話情報をマーケティングや利便性向上に活用予定



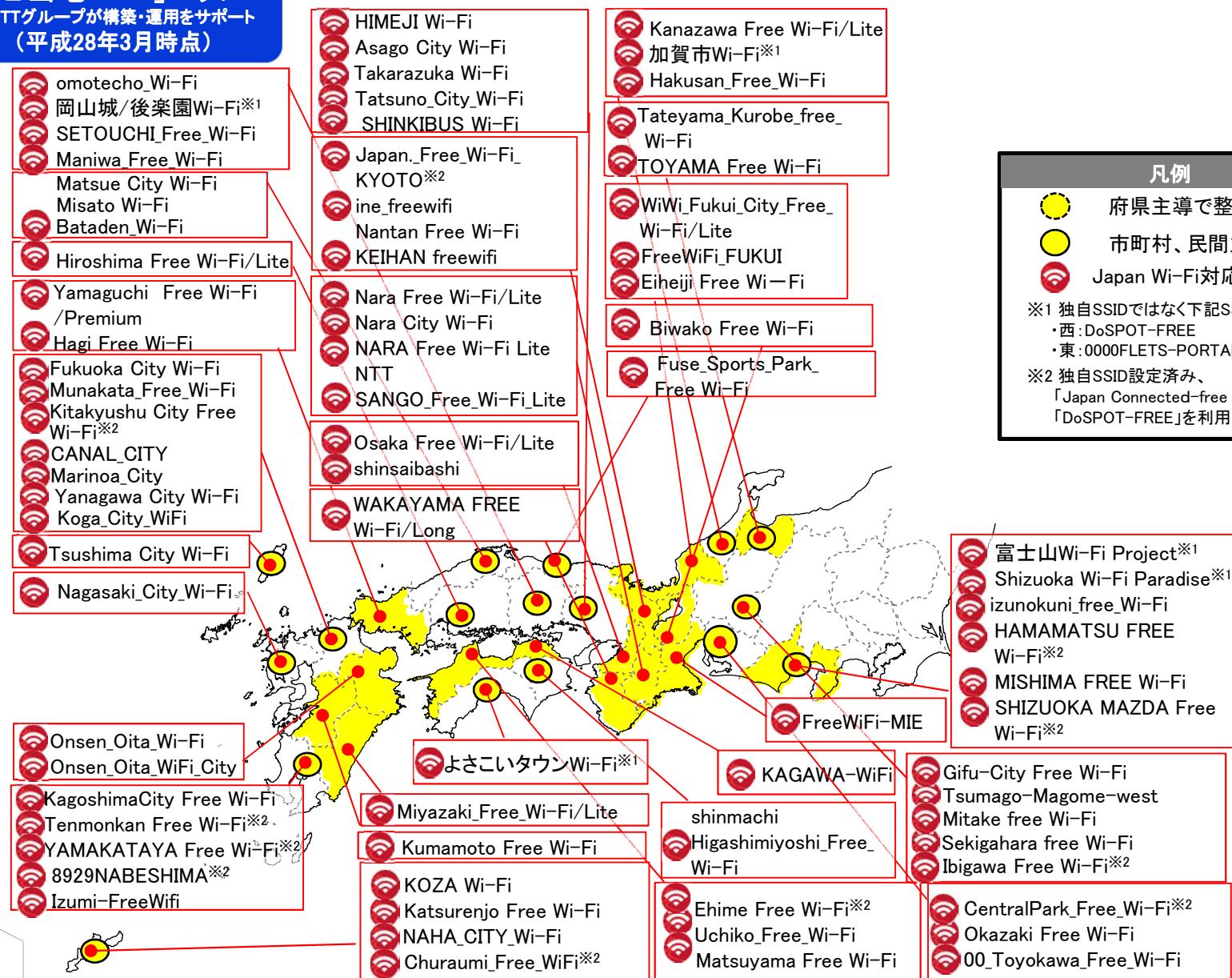
出所：NTTデータ ニュースリリース (<http://www.nttdata.com/jp/ja/news/release/2016/042605.html>) ※「Sota」はヴァイストン株式会社の商標です。

地方創生×ICT



地域のWi-Fi化の取組み<公衆フリーWi-Fi>

「ご当地Wi-Fi」マップ ※NTTグループが構築・運用をサポート (平成28年3月時点)



インバウンド需要を後押しする <Japan Connected-free Wi-Fi>

Japan Connected-free Wi-Fiのアプリを活用すれば、一度の登録で複数の公衆フリーWi-Fiを利用できるワン認証を実現

特徴

- ・アプリの利用登録のみで**全国14万5千AP**(平成28年7月現在)を簡易な操作で利用可能
- ・13言語に対応し、外国人旅行者の利便性が高い
- ・オフラインマップに対応し、移動中のWi-Fiスポット検索にも対応

例) 大阪で1度アプリに登録してWi-Fiを利用すれば、香川に移動しても登録なしで利用可能

SSID : KAGAWA-WiFi



【利用できる場所を検索】 【フリーWi-Fiに接続】



現在地を中心にお近くの
Wi-Fiスポットを検索
(オフラインマップ対応)



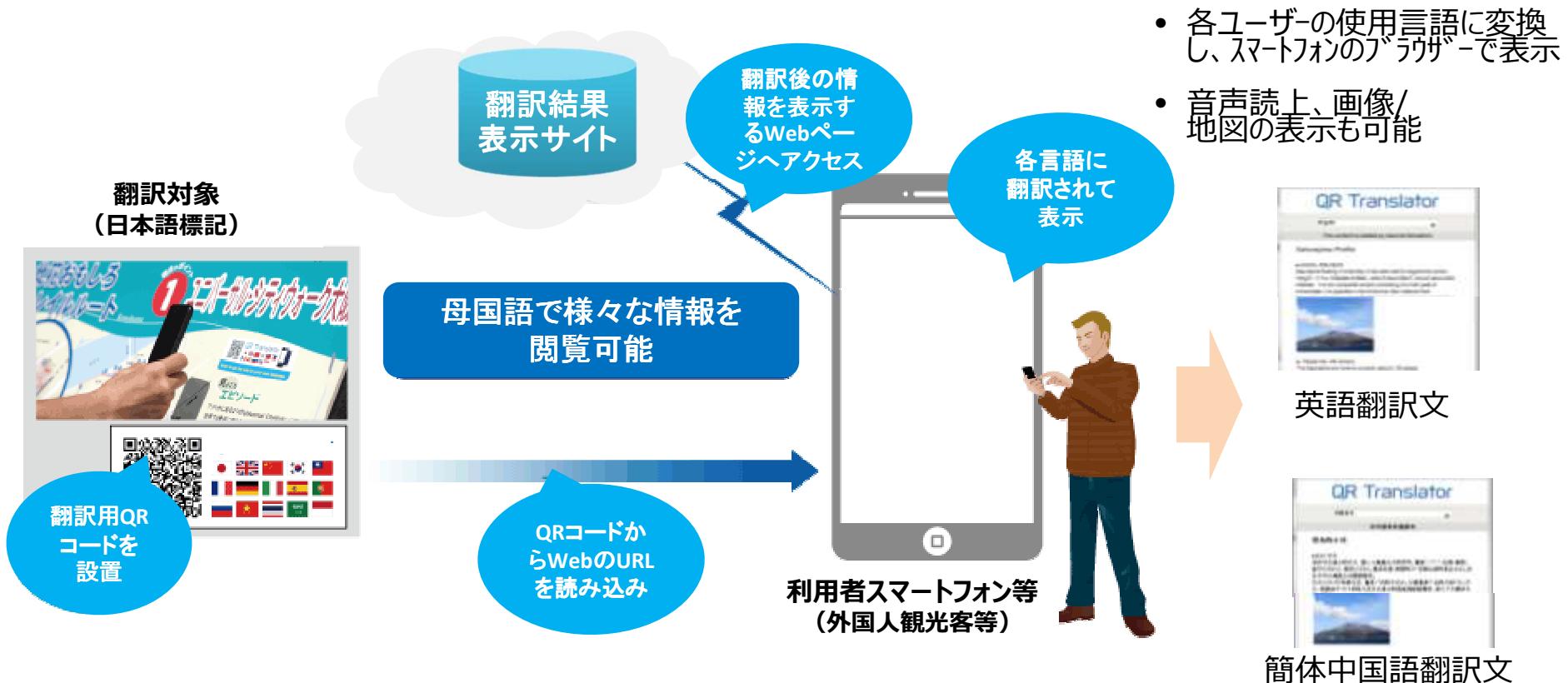
※Japan Connected-free Wi-Fiはエヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社が提供するサービスです。

Copyright©2016 西日本電信電話株式会社

インバウンド需要を後押しする<QRコード翻訳>

- 利用者はQRコードを使って多言語化した翻訳サイトへアクセス
- QRコードを読み取ると、ユーザーが利用するスマートフォンの設定言語でブラウザより翻訳文を表示

【QRコード翻訳の利用フロー】



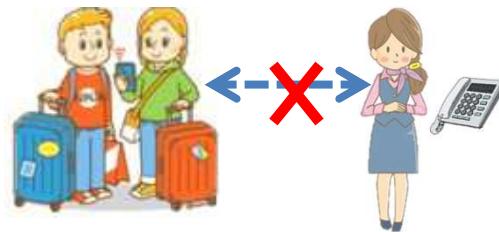
インバウンド需要を後押しする <電話・タブレット通訳>

外国人顧客の応対を行う際に、「多言語通訳センター」へ電話をつなぐことによって、電話・タブレットを介して通訳対応

お客さま、ご担当者、多言語通訳センターの三者通話により通訳

通訳が必要な外国人のお客さま
から電話がかかった場合

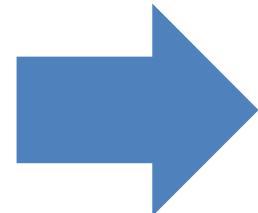
日本語が通じない！



外国人のお客さま ご担当者

通話中の状態で保留
し「三者通話機能」を
利用して受付から通
訳センターへ電話する

多言語通訳センター



外国人のお客さま ご担当者
三者通話状態で
通訳をする

多言語通訳センター



オペレーター

観光戦略立案による地域活性化

地域活性化の1つである「観光」について、ビジネスノウハウを活かした観光戦略立案と、ITを活用した戦略実行が必要

長崎県における観光立国の4条件

気候

温暖



自然

島原半島
ジオパーク



文化

軍艦島
長崎くんち



食事

カステラ
皿うどん



観光戦略立案で求められる視点

- ・観光客のセグメンテーション
- ・ターゲットに応じた観光設備の整備
- ・観光客向けロジスティクス整備

(観光にお金をかける国など)
(超富裕層向けホテルの充実など)
(外国語対応道案内、渋滞回避など)

⇒ **ビジネスノウハウの活用が重要**

観光戦略で実現する目標

観光客に底の見えない長崎の魅力を感じてもらい、ターゲットユーザー層からリピーターを獲得

観光戦略立案による地域活性化

消費行動における「AIDMAの法則」に、観光分野における消費者（=旅行者）の行動を促進させる仕組みが必要

従来の消費者行動の法則

A	Attention (注意)
I	Interest (興味・関心)
D	Desire (欲求)
M	Memory (記憶)
A	Action (行動)

観光消費者（旅行者）
行動促進の法則

V	Visit (訪れる)
E	Excursion (巡る)
C	Consume (消費する) = 買う・食べる
S	Stay (泊まる)
I	Impressed (感動する)
S	Share (共有する)

地方創生×ICT

「しごと」・「ひと」の好循環から、「まち」を創生する地方創生の実現に向けて、産業の活性化、安心・安全で豊かな生活の実現等、さまざまな分野でICTを活用



観光×ICT <父の挑戦>

企業広告「父の挑戦 篇」(<http://www.ntt-west.co.jp/ad/company/approach.html>)



皆さまと一歩前へ
～その挑戦をご一緒に～

